

みずほ世界不動産投信(通貨選択型)

<円コース><米ドルコース><豪ドルコース><ブラジルリアルコース>

<ロシアルーブルコース><インドルピーコース><中国元コース><南アフリカランドコース>

追加型投信/海外/資産複合

<マネープールファンド>

追加型投信/国内/債券

月次運用レポート

2012年5月

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

<円コース><米ドルコース><豪ドルコース><ブラジルリアルコース><ロシアルーブルコース>

<インドルピーコース><中国元コース><南アフリカランドコース>

信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

<マネープールファンド>

安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

主として先進国の不動産証券(1)に、一部を新興国(2)の不動産証券に投資することで、配当収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とします。

・各ファンド(<マネープールファンド>を除く)は外国投資信託への投資を通じて、世界各国の金融商品取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産証券に実質的な投資を行います。

・不動産証券の実質的な運用はUBSグローバル・アセット・マネジメント(ホンコン)リミテッドが行います。

(1)不動産証券とは、リートおよび不動産株式をさします。不動産株式とは、不動産関連事業(不動産の販売、開発、管理、融資、賃貸等)を営んでいる企業の株式をいいます。

(2)新興国とは、いわゆる先進国を除く諸国で、一般にエマージング・カントリー、発展途上国、中所得国および低所得国などと認識される国々をいいます。

為替変動リスクの異なる8コースの中から選択でき、その後のスイッチングも可能です。

各ファンド(<マネープールファンド>を除く)は毎月決算を行い、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行います。

・毎月16日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時には、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行います。

・毎年2月および8月の決算時には、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

・<マネープールファンド>は毎年2月および8月の16日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、基準価額水準等を勘案して分配を行います。

「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

当資料は14枚ものです。P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

なお、別紙1～3も併せてご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

みずほ世界不動産投信（通貨選択型）

円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース ロシアループルコース
 インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース [追加型投信/海外/資産複合]
 マネーボールファンド [追加型投信/国内/債券]

月次運用レポート（2012年5月）

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記のような主要な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。各ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

各ファンド(＜マネーボールファンド＞を除く)

- リート(REIT)のリスク ... 保有不動産に関するリスク
 保有不動産の価値の変動によりリート(REIT)の資産価値は増減するため、リート(REIT)の価格が変動します。特に、自然災害等によって保有不動産に大きな損害等が生じた場合にはリート(REIT)の価格は大きく下落することも予想されます。また、リート(REIT)の保有不動産は老朽化や立地環境の変化等によって入居率が低下したり、賃料が下落したりすることがあるため、収益性が悪化することがあります。これらの要因により、実質的にリート(REIT)に投資する各ファンドの基準価額が上下することとなります。
- 金利リスク
 一般的に金利が上昇するとリート(REIT)の価格は下落します。各ファンドは、実質的にリート(REIT)に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。
- 株価変動リスク 各ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。また各ファンドは、特定の業種に絞った株式に実質的に投資を行いますので、株式市場全体の動きと各ファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い業種・銘柄に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。
- 為替リスク 各ファンド(＜円コース＞を除く)
 各ファンドの主要投資対象である外国投資信託では原則として、実質的な投資資産の発行通貨(以下、「原資産通貨」といいます。)を売り予約し、各ファンドごとの通貨(以下、「コース通貨」といいます。)を買い予約する為替取引を行います。しかし、原資産通貨の為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。くわえてコース通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。この場合、コース通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。また、いずれのファンドにおいてもコース通貨の金利が原資産通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。
- ＜円コース＞
 ＜円コース＞の主要投資対象である外国投資信託では原則として、対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、原資産通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円金利が原資産通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。
- ＜ブラジルリアルコース＞、＜ロシアループルコース＞、＜インドルピーコース＞、＜中国元コース＞については、為替ヘッジにあたり為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用します(2012年2月現在)。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待、当該国の資本規制や税制等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や金利市場から想定されるものと大きく乖離する場合があります。
- 外国為替市場の混乱等により為替予約取引やNDF取引が行えなくなった場合、コース通貨の為替への投資ができなくなる等ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。特にNDF取引は為替予約取引に比べ当該国の資本規制や税制等の影響により流動性が乏しくなることがあることから、そのリスクが高くなります。
- NDF取引については、別紙3をご参照ください。
- 流動性リスク 各ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場に投資した場合、また、実質的に投資したリート(REIT)によっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかったり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- 信用リスク 実質的に投資対象とするリート(REIT)が、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、実質的に投資する株式、短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。
- カントリーリスク 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。
- ＜マネーボールファンド＞**
- 金利リスク 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券等に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。
- 信用リスク 実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行体が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。

～ご留意事項～

各ファンドが外国投資信託を通じて実質的に投資を行う、世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産証券に関しては、現地の税制にしたがって課税されます。各ファンドが主要投資対象とする外国投資信託は英領ケイマン籍であり、英領ケイマン諸島は投資対象国との間において租税条約がなく軽減税率が適用されない場合があります。そのため外国投資信託が收受する不動産証券の配当金について、現地で源泉税が徴収されるため、配当の全額をそのまま享受できるわけではありません。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について、および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

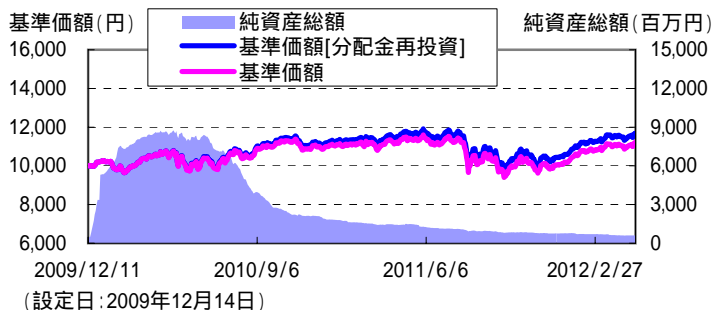
当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
追加型投信/海外/資産複合
月次運用レポート（2012年5月）

円コース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	11,208 円
解約価額	11,174 円
純資産総額	606 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (JPY)	89.9%
DIAM マネーマザーファンド	3.3%
現金等	6.8%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	1.72%	6.77%	7.50%	-0.53%	11.06%	16.88%

分配金実績 (税引前)

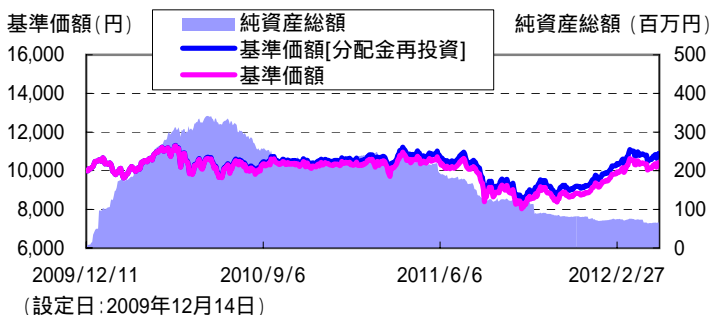
分配金は1万口当たり

直近3年分

第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	20 円	第19期 (2011.07.19)	20 円	第28期 (2012.04.16)	10 円
第2期 (2010.02.16)	5 円	第11期 (2010.11.16)	20 円	第20期 (2011.08.16)	20 円	累計分配金	450 円
第3期 (2010.03.16)	5 円	第12期 (2010.12.16)	20 円	第21期 (2011.09.16)	20 円		
第4期 (2010.04.16)	20 円	第13期 (2011.01.17)	20 円	第22期 (2011.10.17)	20 円		
第5期 (2010.05.17)	20 円	第14期 (2011.02.16)	20 円	第23期 (2011.11.16)	10 円		
第6期 (2010.06.16)	20 円	第15期 (2011.03.16)	20 円	第24期 (2011.12.16)	10 円		
第7期 (2010.07.16)	20 円	第16期 (2011.04.18)	20 円	第25期 (2012.01.16)	10 円		
第8期 (2010.08.16)	20 円	第17期 (2011.05.16)	20 円	第26期 (2012.02.16)	10 円		
第9期 (2010.09.16)	20 円	第18期 (2011.06.16)	20 円	第27期 (2012.03.16)	10 円		

米ドルコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	10,361 円
解約価額	10,330 円
純資産総額	66 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (USD)	81.9%
DIAM マネーマザーファンド	3.1%
現金等	15.1%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	0.43%	13.63%	15.67%	-1.78%	-1.85%	8.32%

分配金実績 (税引前)

分配金は1万口当たり

直近3年分

第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	20 円	第19期 (2011.07.19)	20 円	第28期 (2012.04.16)	10 円
第2期 (2010.02.16)	0 円	第11期 (2010.11.16)	20 円	第20期 (2011.08.16)	20 円	累計分配金	445 円
第3期 (2010.03.16)	5 円	第12期 (2010.12.16)	20 円	第21期 (2011.09.16)	20 円		
第4期 (2010.04.16)	20 円	第13期 (2011.01.17)	20 円	第22期 (2011.10.17)	20 円		
第5期 (2010.05.17)	20 円	第14期 (2011.02.16)	20 円	第23期 (2011.11.16)	10 円		
第6期 (2010.06.16)	20 円	第15期 (2011.03.16)	20 円	第24期 (2011.12.16)	10 円		
第7期 (2010.07.16)	20 円	第16期 (2011.04.18)	20 円	第25期 (2012.01.16)	10 円		
第8期 (2010.08.16)	20 円	第17期 (2011.05.16)	20 円	第26期 (2012.02.16)	10 円		
第9期 (2010.09.16)	20 円	第18期 (2011.06.16)	20 円	第27期 (2012.03.16)	10 円		

グラフの基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したもとして計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

運用実績の推移および騰落率は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

当資料は14枚ものです。

P.14の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

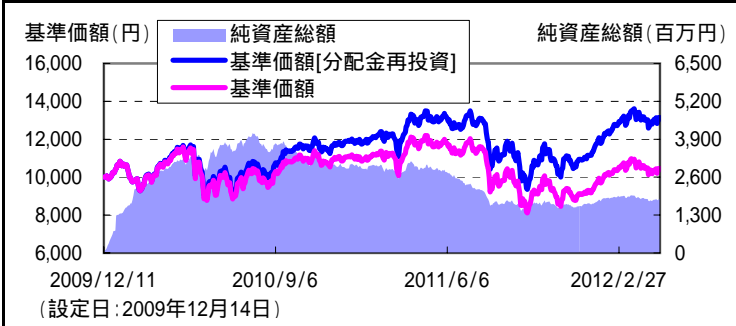
DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
追加型投信/海外/資産複合
月次運用レポート（2012年5月）

豪ドルコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	10,443 円
解約価額	10,412 円
純資産総額	1,850 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	89.1%
DIAM マネーマザーファンド	1.6%
現金等	9.2%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率(税引前分配金再投資)

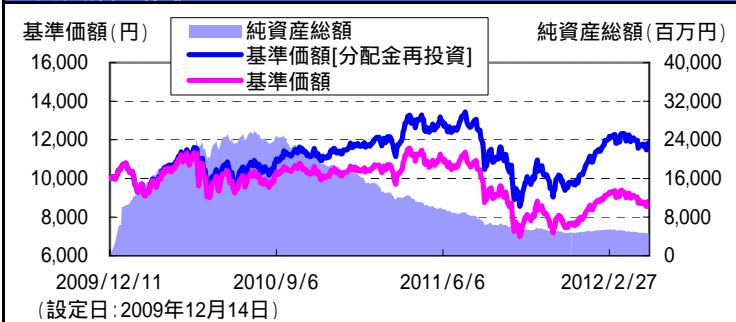
	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	0.92%	11.54%	12.78%	-2.70%	15.45%	31.33%

分配金実績(税引前)

分配金は1万口当たり		直近3年分	
第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	80 円
第2期 (2010.02.16)	40 円	第11期 (2010.11.16)	80 円
第3期 (2010.03.16)	40 円	第12期 (2010.12.16)	80 円
第4期 (2010.04.16)	70 円	第13期 (2011.01.17)	80 円
第5期 (2010.05.17)	70 円	第14期 (2011.02.16)	80 円
第6期 (2010.06.16)	70 円	第15期 (2011.03.16)	80 円
第7期 (2010.07.16)	70 円	第16期 (2011.04.18)	80 円
第8期 (2010.08.16)	80 円	第17期 (2011.05.16)	80 円
第9期 (2010.09.16)	80 円	第18期 (2011.06.16)	80 円
		第19期 (2011.07.19)	80 円
		第20期 (2011.08.16)	80 円
		第21期 (2011.09.16)	120 円
		第22期 (2011.10.17)	120 円
		第23期 (2011.11.16)	120 円
		第24期 (2011.12.16)	120 円
		第25期 (2012.01.16)	120 円
		第26期 (2012.02.16)	120 円
		第27期 (2012.03.16)	120 円
		第28期 (2012.04.16)	120 円
		累計分配金	2,360 円

ブラジルリアルコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	8,734 円
解約価額	8,708 円
純資産総額	4,577 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (BRL)	92.2%
DIAM マネーマザーファンド	2.2%
現金等	5.6%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	-1.44%	8.23%	8.91%	-11.71%	4.32%	17.31%

分配金実績(税引前)

分配金は1万口当たり		直近3年分	
第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	110 円
第2期 (2010.02.16)	70 円	第11期 (2010.11.16)	110 円
第3期 (2010.03.16)	70 円	第12期 (2010.12.16)	110 円
第4期 (2010.04.16)	100 円	第13期 (2011.01.17)	110 円
第5期 (2010.05.17)	100 円	第14期 (2011.02.16)	110 円
第6期 (2010.06.16)	100 円	第15期 (2011.03.16)	110 円
第7期 (2010.07.16)	100 円	第16期 (2011.04.18)	110 円
第8期 (2010.08.16)	110 円	第17期 (2011.05.16)	110 円
第9期 (2010.09.16)	110 円	第18期 (2011.06.16)	110 円
		第19期 (2011.07.19)	110 円
		第20期 (2011.08.16)	110 円
		第21期 (2011.09.16)	110 円
		第22期 (2011.10.17)	110 円
		第23期 (2011.11.16)	110 円
		第24期 (2011.12.16)	110 円
		第25期 (2012.01.16)	110 円
		第26期 (2012.02.16)	110 円
		第27期 (2012.03.16)	110 円
		第28期 (2012.04.16)	110 円
		累計分配金	2,850 円

グラフの基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したもとして計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

運用実績の推移および騰落率は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

当資料は14枚ものです。

P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

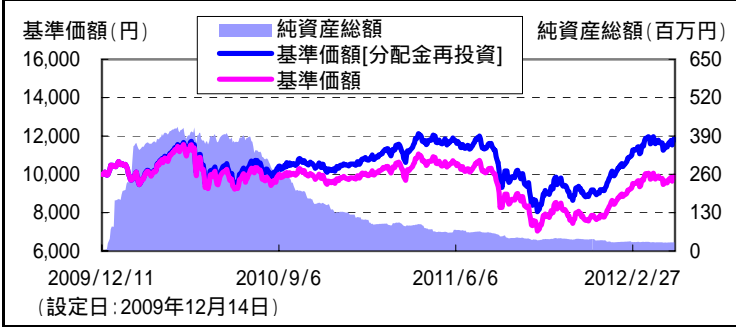
DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
追加型投信/海外/資産複合
月次運用レポート（2012年5月）

ロシアルーブルコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	9,878 円
解約価額	9,848 円
純資産総額	29 百万円

ポートフォリオ構成

UBS（CAY）グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス（RUB）	82.9%
DIAMマネーマザーファンド	3.4%
現金等	13.7%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率（税引前分配金再投資）

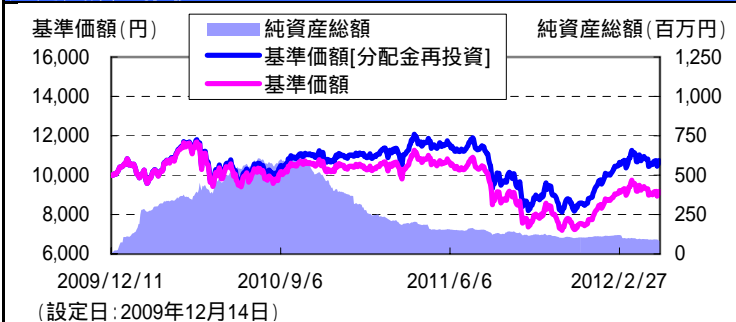
	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	1.84%	19.04%	20.14%	-1.95%	3.95%	18.11%

分配金実績（税引前）

分配金実績（税引前）		分配金は1万口当たり		直近3年分	
第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	70 円	第19期 (2011.07.19)	70 円
第2期 (2010.02.16)	45 円	第11期 (2010.11.16)	70 円	第20期 (2011.08.16)	70 円
第3期 (2010.03.16)	45 円	第12期 (2010.12.16)	70 円	第21期 (2011.09.16)	70 円
第4期 (2010.04.16)	70 円	第13期 (2011.01.17)	70 円	第22期 (2011.10.17)	70 円
第5期 (2010.05.17)	70 円	第14期 (2011.02.16)	70 円	第23期 (2011.11.16)	50 円
第6期 (2010.06.16)	70 円	第15期 (2011.03.16)	70 円	第24期 (2011.12.16)	50 円
第7期 (2010.07.16)	70 円	第16期 (2011.04.18)	70 円	第25期 (2012.01.16)	50 円
第8期 (2010.08.16)	70 円	第17期 (2011.05.16)	70 円	第26期 (2012.02.16)	50 円
第9期 (2010.09.16)	70 円	第18期 (2011.06.16)	70 円	第27期 (2012.03.16)	50 円
				第28期 (2012.04.16)	50 円
				累計分配金	1,720 円

インドルピーコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	9,147 円
解約価額	9,120 円
純資産総額	82 百万円

ポートフォリオ構成

UBS（CAY）グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス（INR）	85.6%
DIAMマネーマザーファンド	2.4%
現金等	11.9%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	-0.30%	12.11%	13.58%	-9.85%	-6.49%	7.03%

分配金実績（税引前）

分配金実績（税引前）		分配金は1万口当たり		直近3年分	
第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	60 円	第19期 (2011.07.19)	60 円
第2期 (2010.02.16)	25 円	第11期 (2010.11.16)	60 円	第20期 (2011.08.16)	60 円
第3期 (2010.03.16)	25 円	第12期 (2010.12.16)	60 円	第21期 (2011.09.16)	60 円
第4期 (2010.04.16)	50 円	第13期 (2011.01.17)	60 円	第22期 (2011.10.17)	60 円
第5期 (2010.05.17)	50 円	第14期 (2011.02.16)	60 円	第23期 (2011.11.16)	60 円
第6期 (2010.06.16)	50 円	第15期 (2011.03.16)	60 円	第24期 (2011.12.16)	60 円
第7期 (2010.07.16)	50 円	第16期 (2011.04.18)	60 円	第25期 (2012.01.16)	60 円
第8期 (2010.08.16)	60 円	第17期 (2011.05.16)	60 円	第26期 (2012.02.16)	60 円
第9期 (2010.09.16)	60 円	第18期 (2011.06.16)	60 円	第27期 (2012.03.16)	60 円
				第28期 (2012.04.16)	60 円
				累計分配金	1,510 円

グラフの基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したもとして計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

運用実績の推移および騰落率は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合があります。

当資料は14枚ものです。

P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

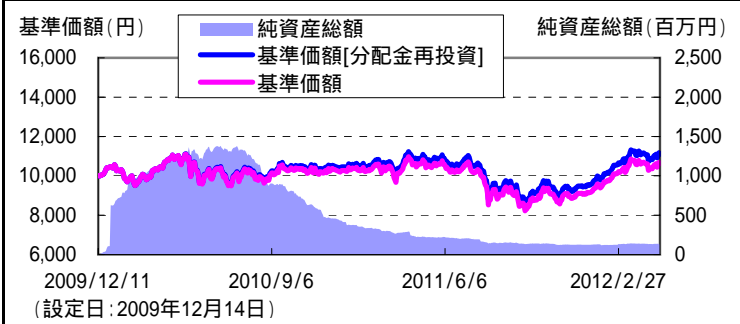
DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
追加型投信/海外/資産複合
月次運用レポート（2012年5月）

中国元コース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	10,629 円
解約価額	10,597 円
純資産総額	129 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)	86.8%
DIAM マネーマザーファンド	3.1%
現金等	10.1%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	0.36%	13.60%	15.99%	0.13%	2.61%	11.11%

分配金実績（税引前）

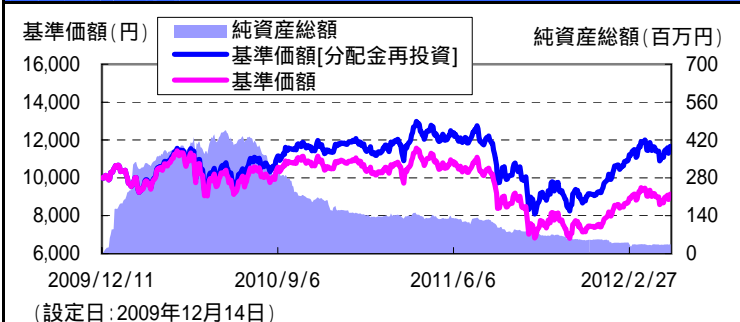
分配金は1万口当たり

直近3年分

第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	20 円	第19期 (2011.07.19)	20 円	第28期 (2012.04.16)	10 円
第2期 (2010.02.16)	0 円	第11期 (2010.11.16)	20 円	第20期 (2011.08.16)	20 円	累計分配金	445 円
第3期 (2010.03.16)	5 円	第12期 (2010.12.16)	20 円	第21期 (2011.09.16)	20 円		
第4期 (2010.04.16)	20 円	第13期 (2011.01.17)	20 円	第22期 (2011.10.17)	20 円		
第5期 (2010.05.17)	20 円	第14期 (2011.02.16)	20 円	第23期 (2011.11.16)	10 円		
第6期 (2010.06.16)	20 円	第15期 (2011.03.16)	20 円	第24期 (2011.12.16)	10 円		
第7期 (2010.07.16)	20 円	第16期 (2011.04.18)	20 円	第25期 (2012.01.16)	10 円		
第8期 (2010.08.16)	20 円	第17期 (2011.05.16)	20 円	第26期 (2012.02.16)	10 円		
第9期 (2010.09.16)	20 円	第18期 (2011.06.16)	20 円	第27期 (2012.03.16)	10 円		

南アフリカランドコース

運用実績の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	9,107 円
解約価額	9,080 円
純資産総額	34 百万円

ポートフォリオ構成

UBS (CAY) グローバル リアルエーステート セキュリティーズ ファンド クラス (ZAR)	84.6%
DIAM マネーマザーファンド	3.0%
現金等	12.4%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/12/14)
当ファンド	1.58%	17.17%	18.58%	-9.09%	4.40%	16.20%

分配金実績（税引前）

分配金は1万口当たり

直近3年分

第1期 (2010.01.18)	0 円	第10期 (2010.10.18)	90 円	第19期 (2011.07.19)	90 円	第28期 (2012.04.16)	50 円
第2期 (2010.02.16)	60 円	第11期 (2010.11.16)	90 円	第20期 (2011.08.16)	90 円	累計分配金	2,330 円
第3期 (2010.03.16)	60 円	第12期 (2010.12.16)	90 円	第21期 (2011.09.16)	90 円		
第4期 (2010.04.16)	90 円	第13期 (2011.01.17)	90 円	第22期 (2011.10.17)	90 円		
第5期 (2010.05.17)	90 円	第14期 (2011.02.16)	90 円	第23期 (2011.11.16)	90 円		
第6期 (2010.06.16)	90 円	第15期 (2011.03.16)	90 円	第24期 (2011.12.16)	90 円		
第7期 (2010.07.16)	90 円	第16期 (2011.04.18)	90 円	第25期 (2012.01.16)	90 円		
第8期 (2010.08.16)	90 円	第17期 (2011.05.16)	90 円	第26期 (2012.02.16)	90 円		
第9期 (2010.09.16)	90 円	第18期 (2011.06.16)	90 円	第27期 (2012.03.16)	90 円		

グラフの基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したもとして計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

運用実績の推移および騰落率は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

当資料は14枚ものです。

P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
 円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 月次運用レポート（2012年5月）

UBS (CAY) グローバル リアルエステート セキュリティーズ ファンド

UBSグローバル・アセット・マネジメント(ホンコン)リミテッドの月末データをもとに作成しています。

国別組入比率				
	発行国	計	リート	不動産株
先進国	米国	45.4%	45.4%	-
	オーストラリア	8.1%	8.1%	-
	フランス	3.9%	3.9%	-
	イギリス	5.0%	5.0%	-
	日本	4.2%	2.5%	1.7%
	カナダ	4.9%	4.9%	-
	オランダ	0.8%	0.8%	-
	シンガポール	3.1%	2.5%	0.5%
	香港	4.0%	1.0%	3.0%
	ベルギー	-	-	-
	ニュージーランド	-	-	-
	ドイツ	1.0%	-	1.0%
	イタリア	-	-	-
	ギリシャ	-	-	-
	その他	2.9%	-	2.9%
計	83.3%	74.2%	9.1%	
新興国	ブラジル	6.0%	-	6.0%
	インド	-	-	-
	南アフリカ	2.3%	-	2.3%
	中国	4.6%	-	4.6%
	メキシコ	-	-	-
	タイ	1.2%	-	1.2%
	フィリピン	1.5%	-	1.5%
	マレーシア	1.6%	1.6%	-
	インドネシア	1.4%	-	1.4%
	ポーランド	-	-	-
	エジプト	-	-	-
	台湾	-	-	-
	トルコ	-	-	-
	その他	-	-	-
	計	18.6%	1.6%	17.0%
現金等		-1.9%		
合計		100.0%	75.7%	26.2%

比率は組入る有価証券の純資産総額に対する割合です。

現金等には未払解約金等が含まれることにより、比率が一時的にマイナスとなることがあります。

為替予約取引から発生する為替ヘッジプレミアム/コスト(年率)

円	米ドル	豪ドル	ブラジルリアル	ロシアループル	インドルピー	中国元	南アフリカランド
-1.47%	-1.15%	3.14%	6.83%	4.61%	7.80%	-0.16%	4.43%

数値は、為替取引によるプレミアム/コストです。(基準日時点のレートを年率換算したものです。)

ポートフォリオの状況	
平均予想配当利回り(課税前)	4.00%
銘柄数	90

平均予想配当利回り(課税前)は、有価証券組入比率で加重平均したものです。

組入上位10銘柄				
	銘柄	発行国	セクタ -	比率
1	Simon Property Group Inc	米国	小売施設	7.1%
2	Westfield Group	オーストラリア	小売施設	4.2%
3	Ventas Inc	米国	専門施設	4.1%
4	Unibail-Rodamco SE	フランス	小売施設	2.4%
5	Growthpoint Properties Ltd	南アフリカ	不動産開発	2.3%
6	Kimco Realty Corp	米国	小売施設	2.3%
7	Digital Realty Trust Inc	米国	オフィス等	2.3%
8	AvalonBay Communities Inc	米国	住宅用	2.1%
9	Health Care REIT Inc	米国	専門施設	2.1%
10	Mid-America Apartment Communities Inc	米国	住宅用	2.1%

比率は組入る有価証券の純資産総額に対する割合です。

当資料は14枚ものです。

P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

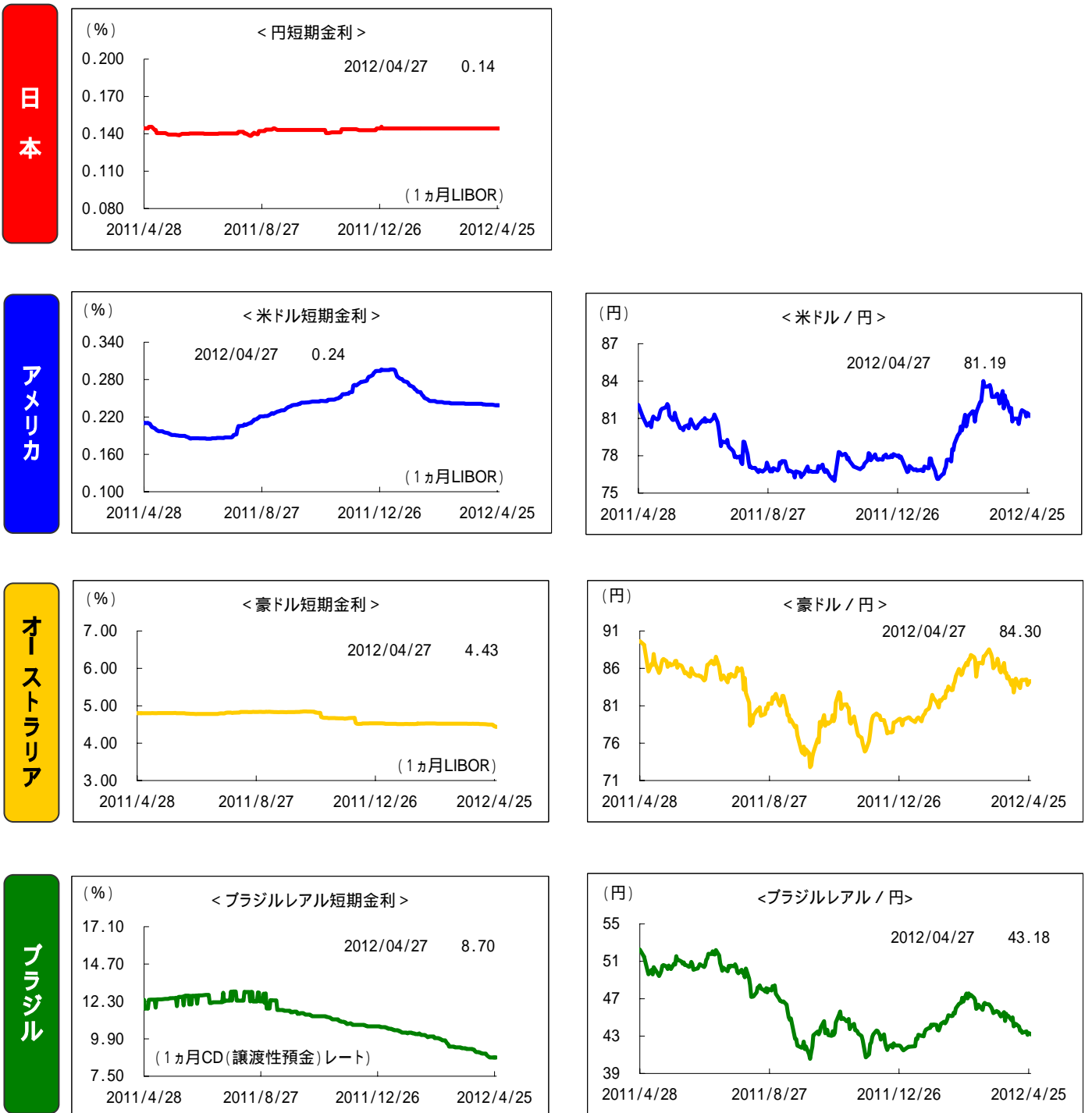
設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
 円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 月次運用レポート（2012年5月）

各国の短期金利と為替の推移（直近1年）

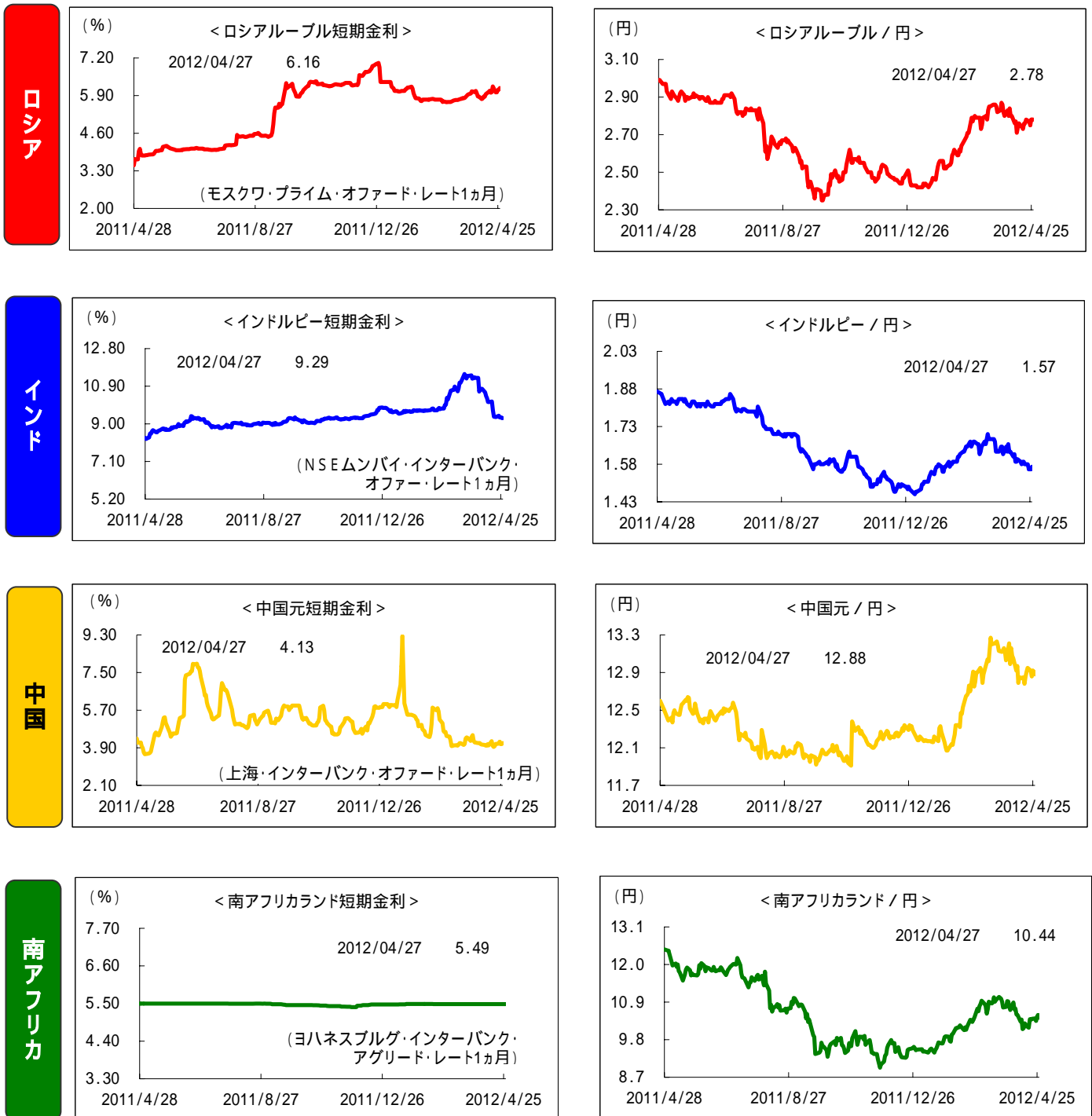


1 短期金利はBloombergのデータを基に作成しています。
 2 為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。
 3 上記のデータはすべて過去のものであり、表示している各国の金利、通貨、および当ファンドの将来の利回りや値動きを示唆・保証するものではありません。また、表示している各種金利は変更になる場合があります。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
 円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 月次運用レポート（2012年5月）

各国の短期金利と為替の推移（直近1年）



1 短期金利はBloombergのデータを基に作成しています。
 2 為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。
 3 上記のデータはすべて過去のものであり、表示している各国の金利、通貨、および当ファンドの将来の利回りや値動きを示唆・保証するものではありません。また、表示している各種金利は変更になる場合があります。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

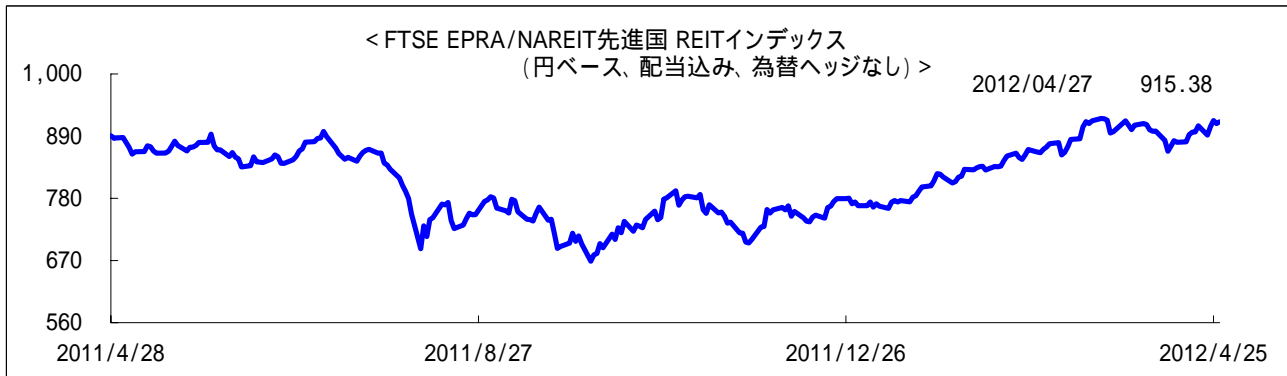
設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

みずほ世界不動産投信（通貨選択型）

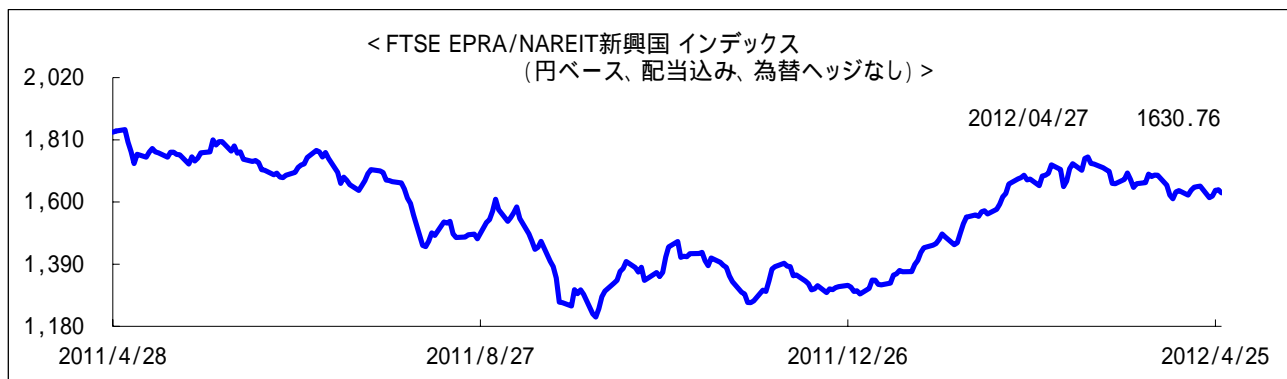
円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアルーブルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 月次運用レポート（2012年5月）

（ご参考）FTSE EPRA/NAREITインデックス（円ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の推移（直近1年）

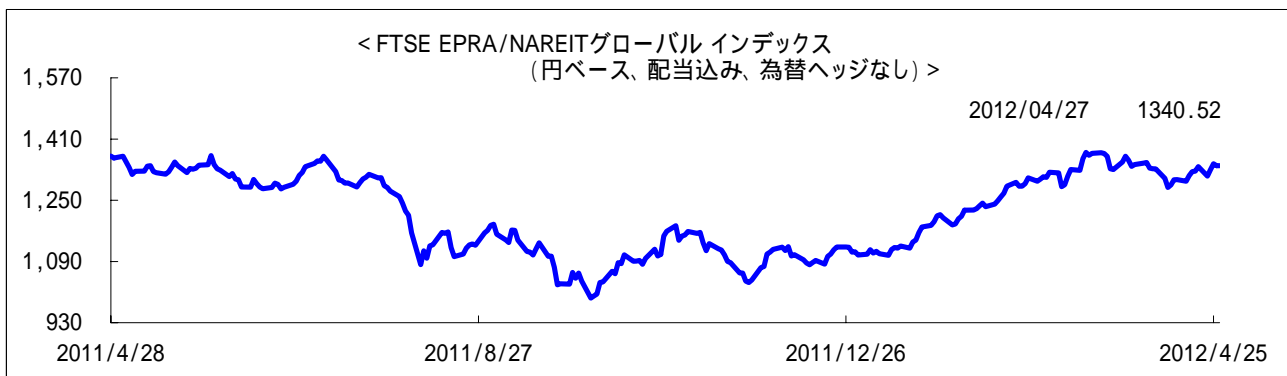
先進国リート



新興国不動産証券



グローバル不動産証券



「FTSE EPRA/NAREIT先進国REITインデックス」は先進国のREIT、「FTSE EPRA/NAREIT新興国インデックス」は新興国のREITと不動産株、「FTSE EPRA/NAREITグローバル インデックス」は先進国と新興国のREITと不動産株を対象として、FTSEまたはその関連パートナー会社が定める一定の条件を満たしている銘柄によって構成される指数です。

(出所：FTSE)

“FTSE”および“FTSE(R)”は、ロンドン証券取引所(London Stock Exchange Plc)ならびにフィナンシャル・タイムズ社(The Financial Times Limited)の商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。FTSE EPRA/NAREIT各インデックスは、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSEまたはその関連パートナー会社に与えられています。FTSEは、本指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

みずほ世界不動産投信（通貨選択型）

円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 月次運用レポート（2012年5月）

当月のマーケット動向とファンドの動き

4月の不動産証券市場は、新興国では概ね上昇したものの、先進国ではまちまちな動きとなりました。

先進国不動産証券市場については、日本では、東証REIT指数、不動産関連株ともに下落しました。マンションは供給が減少したものの依然として高い成約率を保っており、また東京都心5区のオフィスについては空室率が改善しました。日銀はJ-REITの購入を積極的に続けており、資産買い入れ基金の増額を発表しました。香港の住宅市場では、前月より多い新規物件の販売が好調さを見せているのに加えて、中古物件販売も依然として堅調さを維持しました。一方、2012年第1四半期のオフィス賃料は、特に中心的なオフィス街（セントラル地区）において予想通りの軟調さを示しました。シンガポールでは、大部分のリートと一部のディベロッパーが2012年第1四半期の決算発表を行いました。リート全般の業績では、大部分が予想通りもしくは若干予想を上回る結果となりました。オーストラリアのリート市場は、上昇しました。オーストラリア経済は依然として相対的に良好な状態にあり、政府債務比率は先進国の中で最も低い水準にあり、また家計貯蓄率は高い水準を示しています。欧州の不動産市場は値動きの大きな展開となりました。ギリシャの切迫したデフォルト（債務不履行）は回避されたものの、スペインやイタリアなど周縁国への波及により、欧州債務問題が引き続き株式市場を動揺させました。米国のリート市場は堅調に推移しました。良好だった各種経済指標に陰りが出たものの、リートにとって追い風となるFRB（米連邦準備理事会）による低金利政策の長期継続への可能性が増したことが、リートのパフォーマンスを下支えしました。

新興国不動産証券市場については、中国では、PMI（製造業購買担当者指数）が引き続き改善を見せました。不動産市場は、前月に続き相対的に堅調さを維持しており、ほとんどのディベロッパーが前月と同様の販売を維持するものと予想しています。ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国では、域内のインフレ率は依然として抑えられた水準を示しているものの、中央銀行の多くは力強い国内の経済成長と高騰するコモディティ価格により、政策金利を据え置いています。

このような環境下、円コースは前月末比1.72%上昇しました。
 （なお、その他のコースについてはP.3～6の各コースの騰落率をご参照下さい。）

為替市場では、ヘッジ対象通貨は総じて下落しました。月の前半は、スペイン国債の入札の不調をきっかけに欧州債務問題への緊張が再び高まったことや、米国の景気回復への期待が後退したこと、中国の景気減速懸念が広がったことなどから、ヘッジ対象通貨は総じて下落しました。月の後半においても、欧州債務問題の再燃などを背景として市場のリスク回避の姿勢が一層強くなり、ヘッジ対象通貨は概ね軟調に推移しました。
 （なお、為替については、米国の月末を基準として記載しております。）

今後のマーケットの見通しと運用方針

先進国市場の不動産証券に関しては、日本の不動産市場については、オフィス需要の回復基調や日銀によるリート市場への支援、また経済面では震災復興需要による経済成長への期待と魅力的な株価水準を背景に、引き続き良好な見通しを持っています。香港では、住宅市場における改善が認められるものの、ディベロッパーについては引き続き慎重に見ています。一方、賃貸物件市場は、より良好な状態であると見えています。シンガポールのオフィス市況については、供給過多と新規物件の空室率が依然として高いことから、弱気な見通しを持っています。オーストラリアは、短期的には世界経済の影響が懸念されるものの、中期的には適度な成長が見込まれると見えています。欧州は、フランス大統領にオランド氏が当選し、現行の緊縮財政政策から経済成長主導への移行についての議論に焦点が当てられる可能性があると考えています。これにより、EU（欧州連合）加盟国間での論争が引き起こされ、不動産セクターを含む株式市場の値動きが激しくなる可能性があるかと予想しています。米国経済については、欧州債務問題によるマクロ経済の不透明感と、いくつかの弱い経済指標から、慎重な見通しを持っています。リート市場は、良好な企業収益の成長見通しなどにもかかわらず、短期的には世界の株式市場と同様に変動の激しい展開が続くと考えられます。

新興国市場の不動産証券に関しては、アジア諸国については、基本的に強気の見通しを継続しています。中国の不動産市場では、依然としてディベロッパーが割安な水準にあるとともに、新規住宅取得者向けの政府支援が奏功していることから、引き続き注目する方針です。ASEAN諸国のディベロッパーについては、政策リスクが少ないことなどから、引き続き見通しは良好なものと考えています。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
 DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
 円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアルールコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 マネーブルファンド
 追加型投信/国内/債券
 月次運用レポート（2012年5月）

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円) <マネーブルファンド>は「みずほ世界不動産投信(通貨選択型)」を構成する他のファンドからのスイッチング以外の購入はできません。
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	各ファンド(<マネーブルファンド>を除く) 換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。 <マネーブルファンド> 換金のお申込日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して7営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	各ファンド(<マネーブルファンド>を除く)において、ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行またはチューリッヒの銀行の休業日のいずれかに該当する日には購入・換金またはスイッチングのお申込みの受付を行いません。ただし、次の4つの各コースでは、下記該当日も購入・換金またはスイッチングのお申込みの受付を行いません。 ・ブラジルリアルコース:サンパウロの銀行の休業日、 ・ロシアルールコース:ロシアの銀行の休業日、 ・インドルピーコース:ムンバイの銀行の休業日、 ・中国元コース:上海の銀行の休業日。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2014年12月16日までです。(設定日:2009年12月14日)
繰上償還	各ファンド(<マネーブルファンド>を除く) 主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合は、信託契約を解約し、信託を終了させます。次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。 <マネーブルファンド> 当ファンド以外の全てのファンドが存続しないこととなった場合は、信託契約を解約し、信託を終了させます。次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	各ファンド(<マネーブルファンド>を除く) 原則として毎月16日(休業日の場合は翌営業日) <マネーブルファンド> 原則として毎年2月16日、8月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(<マネーブルファンド>を除く) 年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 <マネーブルファンド> 年2回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金再投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）
 円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 マネーパブルファンド
 追加型投信/国内/債券
 月次運用レポート（2012年5月）

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

スイッチング	「みずほ世界不動産投信(通貨選択型)」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。スイッチングの際には、ご換金時と同様の費用・税金および各販売会社が定める手数料・税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングのお取扱いをしない場合がありますのでご注意ください。スイッチングのお取扱い等、くわしくは販売会社にお問い合わせください。
--------	--

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
スイッチング時	
スイッチング手数料	<p><各ファンド(＜マネーパブルファンド＞を除く)へのスイッチングによるお申込み> スイッチングによるお申込日の翌営業日の基準価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。</p> <p><<マネーパブルファンド>へのスイッチングによるお申込み> マネーパブルファンドへのスイッチングは無手数料となります。 販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。</p>
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	<p><各ファンド(＜マネーパブルファンド＞を除く)> 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。</p> <p><マネーパブルファンド> ありません。</p>
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	<p><各ファンド(＜マネーパブルファンド＞を除く)> 実質的な運用管理費用(信託報酬):信託財産の純資産総額に対して年率1.7915%(税抜1.74%)(概算) ・各ファンド:信託財産の純資産総額に対して年率1.0815%(税抜1.03%) ・投資先外国投資信託:投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.71%程度 <マネーパブルファンド> 信託財産の純資産総額に対して年率0.105%(税抜0.10%)</p>
その他費用・手数料	<p>組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)</p> <p>なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。</p>

「UBS(CAY)グローバル リアルエステート セキュリティーズ ファンド」の投資顧問会社について

当ファンドが投資対象とする「UBS(CAY)グローバル リアルエステート セキュリティーズ ファンド」の投資顧問会社は、グループ体制見直しによる運用拠点の変更に伴い、2012年4月1日付で、「UBSグローバル・アセット・マネジメント(アメリカ)インク」から「UBSグローバル・アセット・マネジメント(ホンコン)リミテッド」に変更されています。

当資料は14枚ものです。
 P.14の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほ世界不動産投信（通貨選択型）

円コース 米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース
 ロシアループルコース インドルピーコース 中国元コース 南アフリカランドコース
 追加型投信/海外/資産複合
 マネープールファンド
 追加型投信/国内/債券
 月次運用レポート（2012年5月）

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みの際は、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点（2012年5月16日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

各ファンドは、実質的に不動産投信（リート）、株式、債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください

委託会社の照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-506-860

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					4
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					4

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。
- 4 SBI証券、楽天証券についてはマネープールファンドのお取扱いはしておりません。

（原則、金融機関コード順）

当資料は14枚ものです。

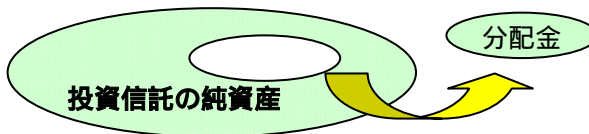
設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

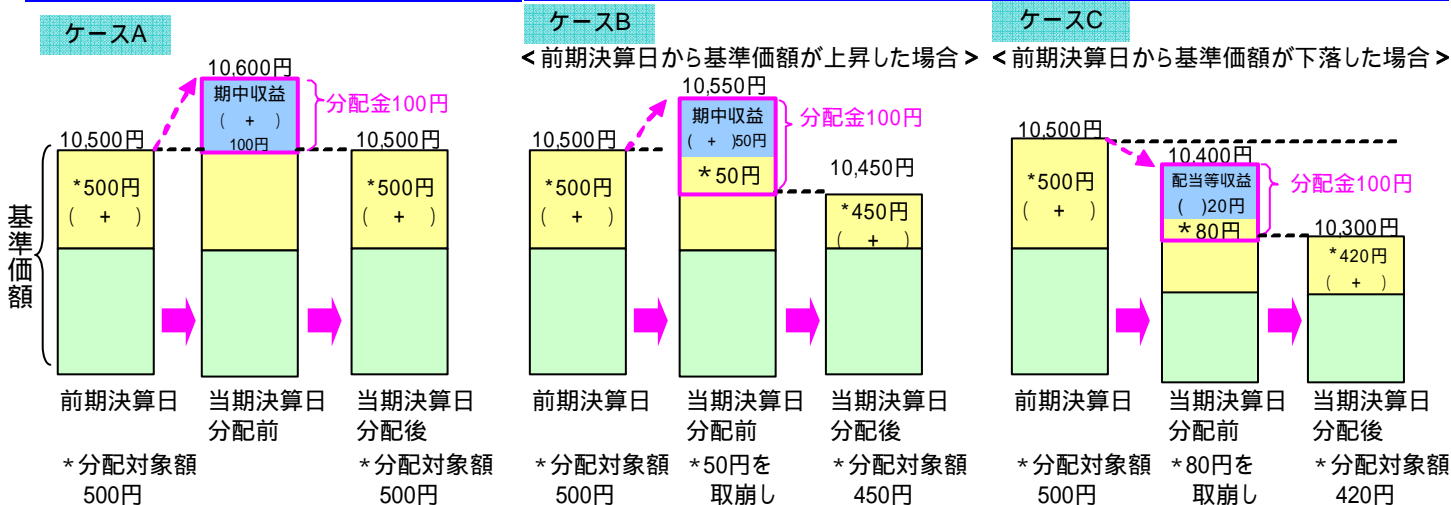
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

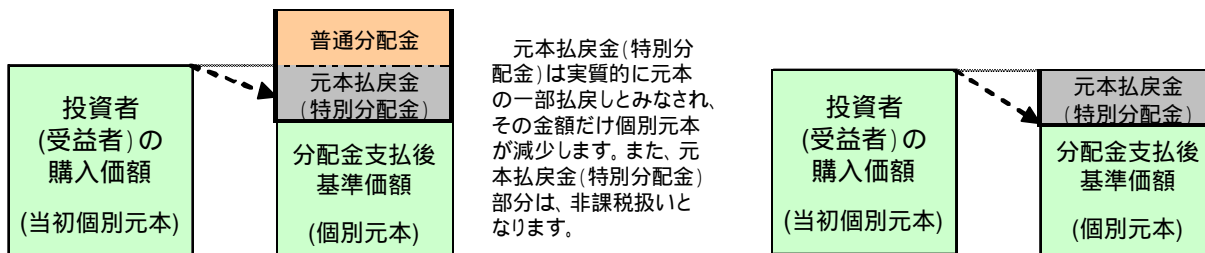
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

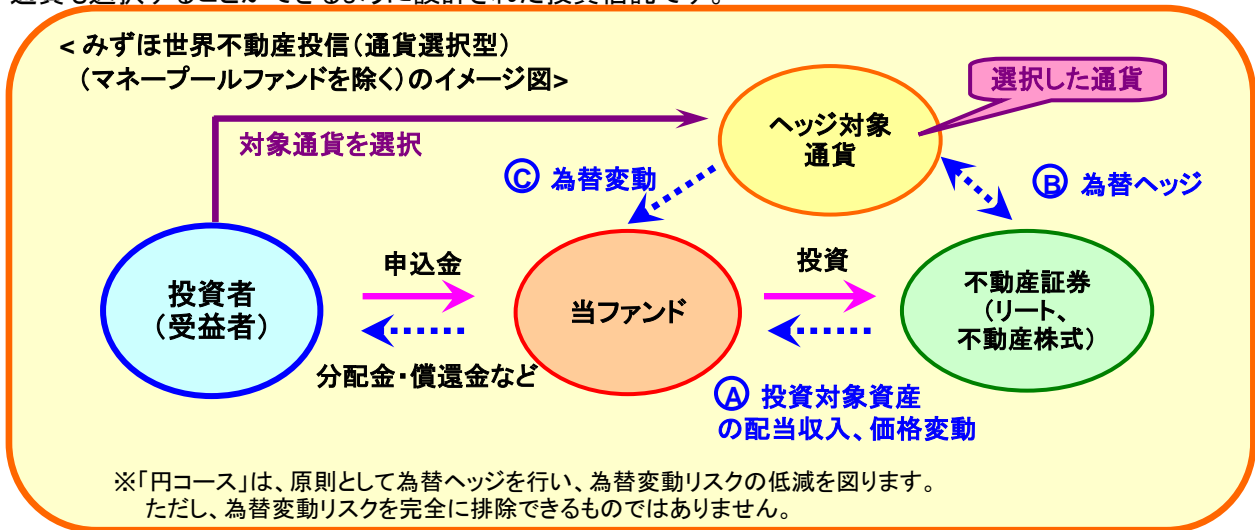
分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。



- みずほ世界不動産投信(通貨選択型)(マネープールファンドを除く)の収益源としては、以下の3つの要素があげられます。

① 投資対象資産による収益(上図A部分)

- ・ 不動産証券が値上がりした場合や配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・ 逆に、不動産証券が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

② 為替ヘッジプレミアムによる収益(上図B部分)

- ・ 「選択した通貨」の短期金利が、「不動産証券の通貨」(原資産通貨)の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の短期金利のほうが低い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。

※ 「選択した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図C部分)

- ・ 上図B部分とは異なり、上図C部分については為替ヘッジを行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・ 「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

- これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	不動産証券の配当収入、 値上がり/値下がり	+	為替ヘッジプレミアム /コスト	+	為替差益/為替差損
収益を得られる ケース		金利の低下 不動産証券市場の好転 等 不動産証券の 価格の上昇		ヘッジ対象通貨の短期金利 > 原資産通貨の短期金利 ヘッジプレミアムの発生		円に対してヘッジ対象通貨高 (円安) 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		不動産証券の 価格の下落 金利の上昇 発行者の信用状況の悪化 不動産証券市場の悪化等		ヘッジコストの発生 ヘッジ対象通貨の短期金利 < 原資産通貨の短期金利		為替差損の発生 円に対してヘッジ対象通貨安 (円高)

※ 「円コース」は、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

為替予約取引とNDF取引

為替ヘッジは、主に「為替予約取引」を用います。

しかし、一部の新興国通貨では…
(中国元、ブラジルレアル、インドルピー、
インドネシアルピアなど)
「為替予約取引」ができません。

そこで

NDF取引を活用

【理由】

為替市場が未成熟であったり、当局が国外での自国通貨の流通を制限しているなどの理由で、本国以外で多額の当該通貨の保有、調達、決済などが難しいためです。

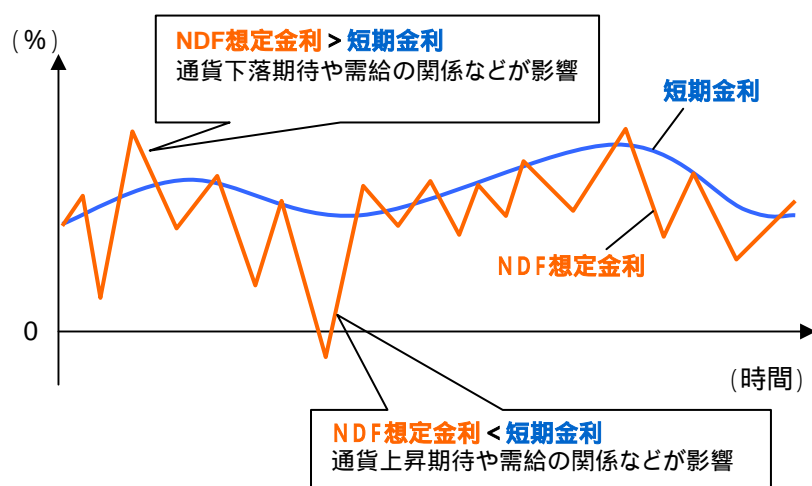
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

直物為替先渡取引の一種です。主に金融機関との相対取引で、当該通貨の受渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済を行います。

通常の為替予約取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、金利裁定(割高や割安を是正する市場のメカニズム)が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。

そのため、**NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離**する場合があります。

< NDF想定金利と短期金利が乖離する例(イメージ) >



NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替ヘッジプレミアムの減少や為替ヘッジコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

左記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

外国為替市場の混乱等によりNDFが利用できなくなった場合には、選択した通貨への投資ができなくなるなどファンドの運用方針に沿った運用ができなくなるリスクもあります。同様のことが通常の為替予約取引についてもいえますが、特にNDFは為替予約取引に比べて流動性が乏しくなることがあるため、そのリスクが高くなります。

上記の要因以外でも、投資対象資産の通貨の短期金利が上昇した場合は、為替ヘッジプレミアムが減少したり、為替ヘッジコストが生じる可能性があります。

上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。
(出所：各種情報に基づきDIAM作成)